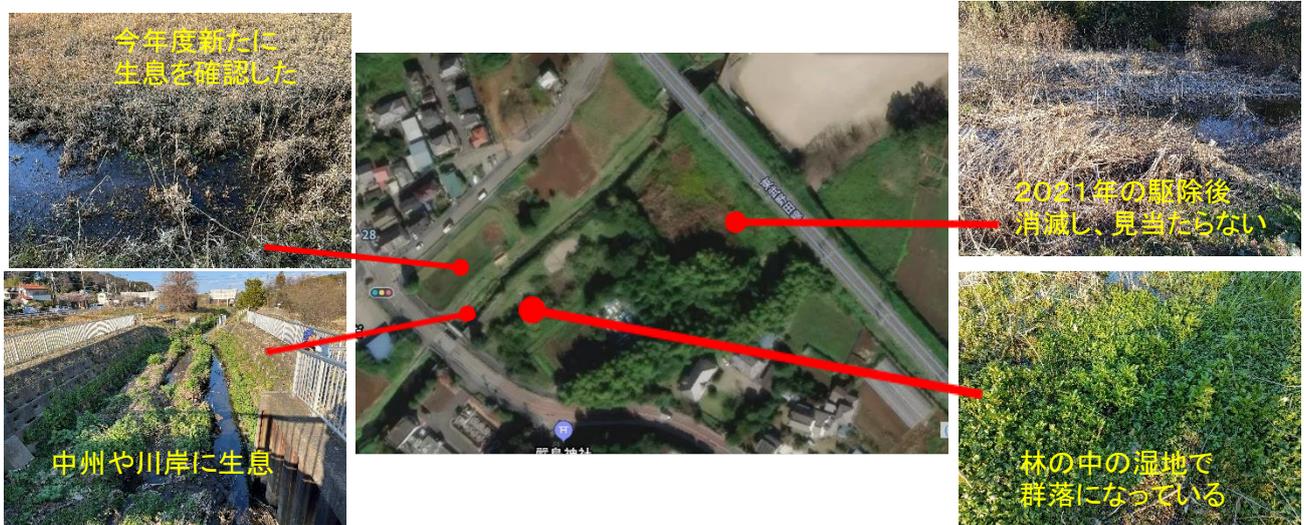




**A** 上大津川 高南台水路



**D** 逆井方面水路 リン除去施設付近



**オオカワヂシャ調査まとめ**

調査メンバーは、大津川をきれいにする会輿石さん、手賀沼流域フォーラム事務局竹内・竹中と、千葉県立博物館林紀男さんにも参加いただいた。

今年度の調査では、ほぼ例年と同様の状況で繁茂域が増えてはいなかった。2021年に逆井方面水路から種子が飛んだことによると思われた隣接する休耕田での広範囲の繁茂は、2021年の駆除後消滅した状況が保たれていた。林さんは、全県的な調査をしてきた中で「水没により死滅する」現象を観察されたと言われ、この事例もその可能性があると思われた。

2011年の手賀沼大津川河口の砂地で初めてオオカワヂシャを確認し、調査・駆除を継続してきた。上大津川の土水路や高南台方面水路でも在来のカワヂシャを確認したため、駆除の意義は大きかったが、オオカワヂシャと同じ個所であることから交雑は避けられず、この区域では在来のカワヂシャは無いとの専門家の指摘もあり、今年度より駆除はしないことを決定した。